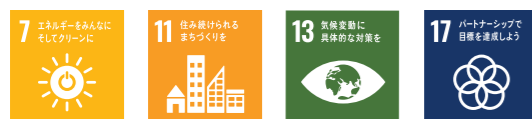




かんとくYAWARAGIエネルギー株式会社

地産地消で 再生可能エネルギーを供給



足利市

住所 足利市堀込町2656番地7 ASKビル1-2
TEL 050-5530-6229
Mail info@kanto-yawaragi-energy.com
URL https://kanto-yawaragi-energy.com/
代表者 三村 挑嗣
設立 2022年7月7日
資本金 1,025万円
従業員 4人

WEBサイト



企業紹介

当社は、2022年7月に群馬銀行の投資専門子会社であるぐんま地域共創パートナーズ(株)(代表取締役 鏡山英男)と地域の企業3社とで地産地消の再生可能エネルギーを普及させることを目的に、「地域発電会社」として共同設立されました。当社は、持続可能な地域社会づくりに向けて、オンサイトPPAモデルによる太陽光発電システムの設置を中心に、オフサイトPPAモデル等にも取り組みながら、地域の需要家に必要とされる再生可能エネルギーを提供しています。

経緯・背景

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル宣言をしました。また、気候変動対策として、多くの企業や団体が様々な形で脱炭素化に向けて取り組んでいます。

そのなかで、自社の本業に関連し地域脱炭素化に向けて問題意識を持っていた企業が地域に循環型のエネルギー事業を創るという大きな「実り」を共有し、地産地消の再生可能エネルギーを「共に創るモデル」となることを目指して設立されました。

店舗屋上で太陽光発電 各地域ごとのモデルづくり 脱炭素化への取り組みも

具体的な取組・成果

当社は、2023年3月に(株)群馬銀行とオンサイトPPA契約を締結し、同行高崎田町支店の店舗屋上への太陽光発電設備の設置を進めてきました。同年10月発電設備の設置が完了し、再生可能エネルギー電力の提供を開始しました。



群馬銀行高崎田町支店の太陽光発電設備

その後2024年1月に(株)ミツバ様でもオンサイトPPAによる発電を開始しました。そのほか、(株)シタラ興産様、(株)群馬銀行3か店とPPA契約を締結しており、同年3月までに順次発電を開始する予定です。



ミツバ様赤城工場の太陽光発電設備

また、2023年11月に伊勢崎市と「脱炭素化の実現に向けた連携協定」を締結しました。当社は本連携協定に基づき同市と環境・エネルギー分野で連携し、同市の脱炭素化を推進・加速化することにより、地域社会の持続的発展に貢献したいと考えています。

そのほかにも現在、複数の基礎自治体様からご相談を受けており、それぞれの地域にあわせたモデルづくりを推進していきます。

今後も持続可能な地域社会づくりに向けて、再生可能エネルギーの地産地消と地域の脱炭素化に取り組んでいきます。



伊勢崎市との脱炭素化の実現に向けた連携協定締結式

当社にとってのSDGsビジョン

当社は、企業理念として「おかげさまエネルギーを、お互いさまネットワークで。」を掲げ、持続可能な地域社会づくりに向けて、地域の資源を活用して自然由来の電力を地域の需要家に届ける電力の地産地消モデルをつくります。また、「共助による」ささあいの場”となり、地域の思いをつむぎます。

今後の展望と求めるパートナー像

将来構想として、①ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)によるエネルギーの地産地消+食の地産地消、②恩送りの料金システムによるNPO等への「資金と思いの循環モデル」づくり、③バイオガス発電等のほかの再エネ事業を構想中です。また、単なる電力販売にとどまらず、持続可能な社会づくりに広く取り組んでいきます。